

なくす会 東西南北

高市政権危険と心配する声も

●青森市の会

青森市の会は2月24日、消費税廃止東青各界連の宣伝行動に参加。2団体8人が参加し、14人から署名が寄せられました。対話では消費税減税への期待とともに憲法9条改悪、戦争国家づくりをめざす高市政権への心配の声も寄せられました。



対話も弾んで23人が署名

●福島・郡山の会

福島県の会と消費税廃止各界連は2月24日、福島市で宣伝と署名アンケート活動。衆院選でほとんどの政党が消費税減税を掲げたことから「37年間一度も減税されなかった消費税の引き下げが実現する可能性が高まっています。今こそすべての政党が公約を守り、減税実現に踏み出すべき」と訴えました。服部雅事務局長は「高市首相の言う2年間の食料品ゼロ%では効果は限定的、一律5%のほうでは効果は2倍。また飲食料品限定では、外食産業に大きな負担となるという問題がある」と訴えました。60代の男性は「生活が大変なので署名は2度目だけど、消費税はなくしてほしい」と署名に応じました。

郡山の会も24日、郡山駅前で12

人で宣伝。ベテランのみなさんを先頭に対話が弾んで反応がとてよく、23人から署名が寄せられました。

また福島県の会は2月の定例県議会に共産党議員の紹介を得て「消費税5%減税、インボイス廃止」の請願書を提出しました。



年金の日に通行人の声を聴く

●埼玉の会

埼玉の会は2月13日、全日本年金者組合の仲間が行った今年初の年金支給日の宣伝行動に参加しました。永塚友啓、鳥海敏行、川嶋猛の各常任世話人が参加し、道行く人たちの声を聴きました。「夫と2人で何とか暮らせているが、1人になったら大変。消費税は減税してほしいけど、財源が心配。高市さんも財源は言わない。借金はダメですね」(80歳、女性)「財源については大企業の応分の課税をするべきと思う。選挙結果は、野党が弱すぎる、指導性のある政治家がいなくなった」(84歳、男性)「消費税が減税されれば暮らしは楽になると思います。ただし高市政権がいう飲食料品ゼロや給付付き税額控除については、これだけの物価高、円安に有効なのだろうかと思っています。消費税一律5%減税は納得できます」(48歳、男性)